



足の冷えやしびれ、むくみでお困りではありませんか。
日常生活でよくあるこれらの症状は、もしかすると足の血管が詰まっているからかもしれません。
そして足の血管の詰まりを調べる検査としてABI検査という方法があります。
このABI検査がどのような検査か、また何が分かるか詳しくご紹介したいと思います。

ABI検査とは

足の血管が細くなっていないかがわかります

まず足の血管が健康な状態の時は、足首の血圧と腕の血圧の数値を比較すると足首の血圧の方が高くなります。
しかし足の血管が動脈硬化などにより、狭くなったり詰まったりして、足の血流が悪くなると、足首の血圧が腕の血圧より低くなります。

普段、足首の血圧を測ることはあまりないかもしれませんが、ABI検査は腕と足首の血圧を同時に測定し、腕と足首の血圧の数値の差を調べて検査します。
この検査は前回ご紹介したCAVI検査と同時測定しています。

腕と足の血圧を測定するだけなので痛みは少なく、比較的簡単な検査です。
次に検査の流れをご紹介します。

検査の流れ

- ①厚手の服や靴下は脱いで仰向けで寝ます。
- ②両腕、両足首に血圧測定用のカフを巻きます。
- ③胸元に心音マイクを付けます。
- ④両腕、両足首の血圧を測るため、カフがギュッと締まっていきます。

※検査中は力を抜き楽にしてください。
※検査結果に影響が出ますので手足を動かしたり、しゃべったりしないでください。
※検査は数分で終わります。



検査結果の見方

CAVI (キヤビィ) 検査結果 測定日: 2019年 1月 8日

氏名: 年齢: 47 歳 性別: 女
 ID: 所属2:
 所属1: 医師名2:
 医師名1: 医師名:
 技師名:

身長: 167.0 cm 体重: kg BMI: kg/m² HR: 66 [拍/分]

検査目的	項目	測定値	標準値	検査結果
動脈の硬さの程度 CAVI	右	8.0	~8.9	血管の硬さは50代前半に相当します。
	左	7.8	(7.4±0.7)	血管の硬さは40代後半に相当します。
動脈の詰りの程度 (ABI)	右	1.15	0.91~1.40	正常範囲です。
	左	1.11		正常範囲です。

CAVI 年齢グラフ 右●左●

検査の結果はいかがでしたか

右上腕血圧 150/98 (131) 脈圧52		左上腕血圧 145/98 (116) 脈圧47
右足首血圧 173/87 (120) 脈圧86		左足首血圧 167/85 (109) 脈圧82

血圧[mmHg] CAVI Cardio Ankle Vascular Index

右足 今回の検査では正常範囲です
 左足 今回の検査では正常範囲です
 上腕の血圧が高めです

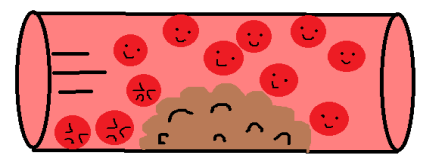
医師の指示に従って下さい
 次回検査日 年 月 日
 コメント

0.9以下で動脈が狭くなっている可能性があります。

腕と足首の最高血圧の差を用いて、ABIの値を出しています。

ABIの値は動脈が狭くなるほど低くなっていきます。そして動脈が狭くなったり詰まったりすると、足の冷えやしびれを引き起こします。
 動脈が狭くなることを狭窄、詰まることを閉塞と言いますが、なぜこのような現象が起きるのでしょうか。
 次に狭窄や閉塞が起きる原因についてお話しします。

狭窄・閉塞の原因



足の動脈の狭窄や閉塞は、動脈硬化が原因と言われています。
 前回ご紹介したCAVI検査で動脈硬化を取り上げましたが、動脈硬化が進んでいる状態でコレステロールなどの油分が血管の内側に蓄積すると、狭窄や閉塞が起こり動脈の血液の流れが悪くなります。
 足の動脈の血流が悪くなると、足に十分な酸素や栄養分が届きにくくなり、歩行時に足のしびれや痛み、冷えやむくみなどの症状が出ます。
 足の健康を維持するために、動脈硬化を予防することが大切です。動脈硬化は血管に負担がかかるとなりやすいため、糖尿病や高血圧症などの生活習慣病がある方や喫煙や飲酒、肥満の方は注意が必要です。
 早期発見のために、ABI検査をしてみたい方は、医師にご相談ください。



検査について詳しく知りたい方は、医師にご相談ください。